

信州木島平 稲荷ボルダー

令和3年8月15日 RCT/K

2020年夏、飯山市と木島平村の境にある昔から地元の人に親しまれてきた「城山」の登山道が大分荒れていたため、地元の詳細を得て幾ばかりの整備を行った。

その際、偶然にも幾つかのボルダーを発見した。

巨石コース谷のボルダーについては、既に紹介済みであるが、この稲荷ボルダーについては、取り掛かりが遅くなってしまい、まだ開拓途中である。

今年に入ってから、私事情等があり、まだ新たにトライができておらず、現在、未だ解決課題や未トライの岩が残っているが、尾根の両サイドのボルダー(A~H)は一段落している状態なので、一区切りとしてここに紹介することにした。

ボルダーは大小さまざま、ハイボールも幾つかあり、ハングからスラブまで変化に富んでいる。ホールドは逆層の岩が多いので、外形ホールドが多く、最後まで気が抜けず登りにくい。しかし、それがこのエリアの課題を面白くしている特性と考えることもできる。

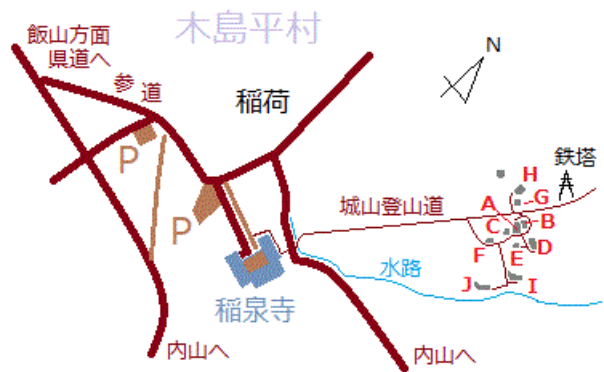
岩質は安山岩系統で一部を除きしっかりしている。また岩は尾根上の左右に多くあるので乾きは良さそうだが、苔の多いところを見ると、それほどではないのかもしれない。しかし周りは雑木林に囲まれて明るく、下地も意外と良いので、気持ち良くトライすることができる。

シーズンは、この木島平村も多雪地帯なので、12月から3月までは雪に閉ざされボルダーの利用はできない。しかし、南斜面のボルダーについては、雪解けが早いと思われるので、年によっては早めに利用できるかもしれない。

アクセスは、長野県木島平村稲荷地区の蓮寺として有名な稲泉寺を目指していく。県道からの入り口が分かりにくいので、下高井農林高校の入口から入っていくと分かりやすい。

駐車場は2ヶ所あり、墓地西側のゲートボール場横の第2駐車場を利用した方が無難である。

アプローチは、稲泉寺の横を抜け、城山稲荷稲泉寺登山口の標識から尾根を登って行くと、10分弱ほどで、送電鉄塔手前のボルダーエリアに着く。左にG岩の頭が見え、右にB岩の頭と倒木が見える。



《課題紹介》

●A岩

左:南面 右:東面

3.5m程の大きな岩で、現在課題は4本あるが、あと数本難しい課題ができそうである。各課題は高さがあるので、クラッシュパッドはしっかり敷きたい。

赤ラインは、LSでスタートできそうなホールドがあったが最初のトライで剥がれてしまい、極度に難しくなってしまった。

黄色ラインは、外傾レッジにマントリングで立ち、上部は慎重にいけば問題なし。

青ラインは、ガバのSDでスタートし、カンテ左右のガバを使っていくが、後ろの木要注意。

水色ラインは、ハング少し上の水平ホールドに立ち、あとは身長がある程度あれば上部のガバに手が届く。



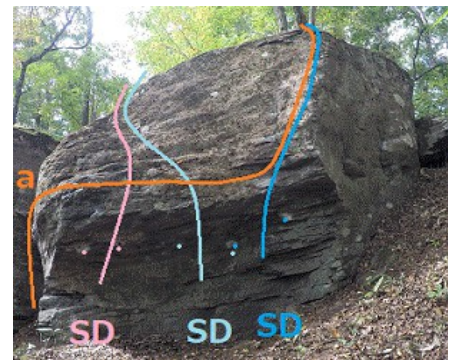
●B岩

左:南面 右:東面

チムニーを挟んで、A岩の東側にあるルーフを持つ岩。

青ラインとオレンジライン辺りが面白い。

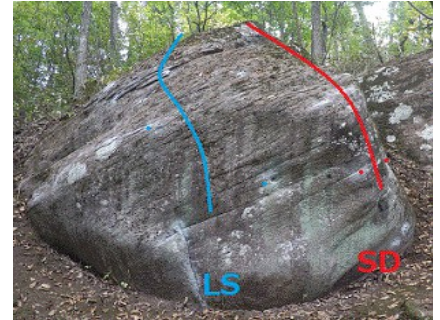
北東面はガバがあり登れそうだが、上部に良いホールドなく未解決。



●C岩

A岩のすぐ西側にある岩で上がスラブなので、出だし2m程が対象。

赤ラインは易しそうに見えるが、あまり良い足がない。



●D岩

上段左:西面左上東面右

上段右:西面右下北面

中段左:南面

中段右:東面左下

下段左:東面右上

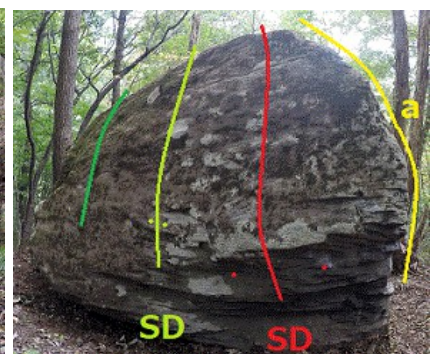
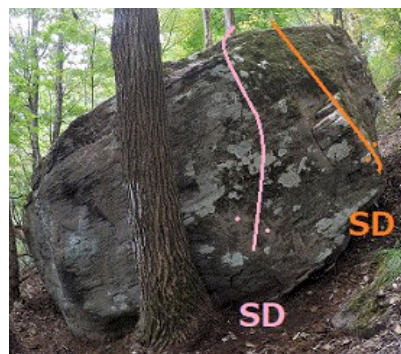
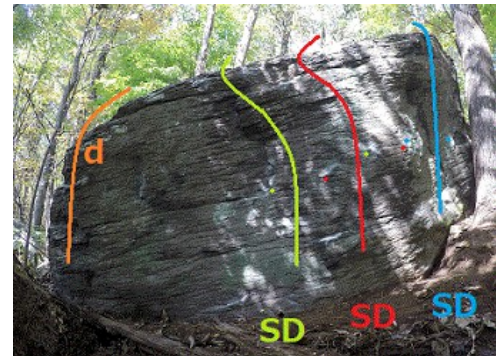
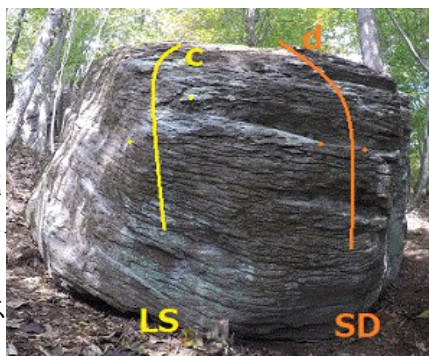
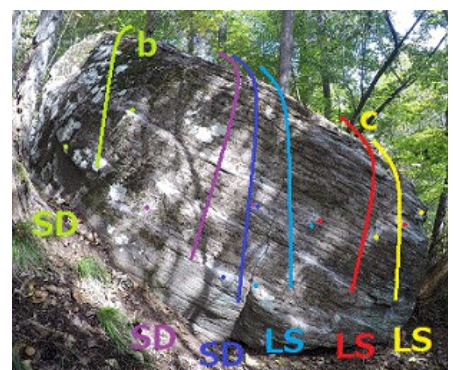
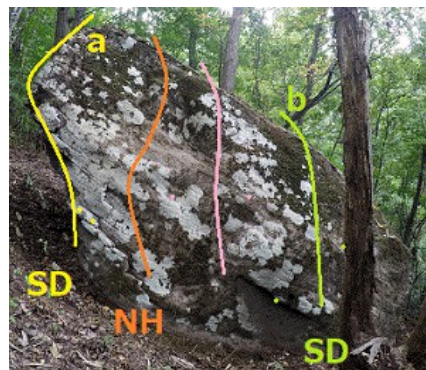
下段右:北面

全体的には大きく、現在18本の課題がある。

上がスラブで、高さがないので、各課題の長さは短い。

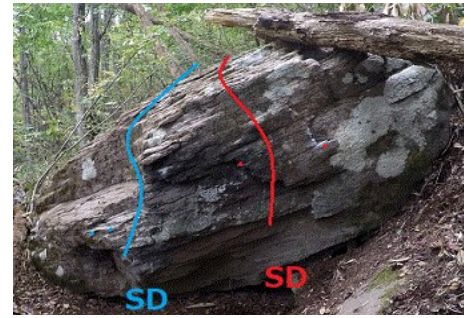
課題として面白いのは北面の赤ライン、東面の3本、南面のオレンジライン辺りだが、西面右下付近は、スタートホールドをいろいろと変えてトライすると楽しめる。

なお、各LSは、腰を下ろした状態からのスタートである。



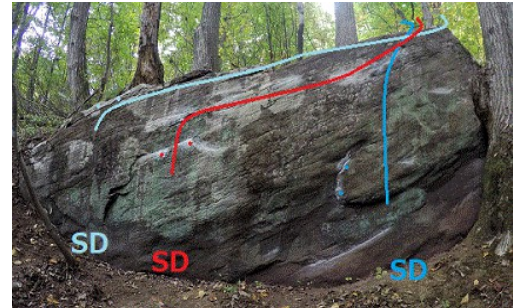
●E岩

A岩の下にある背の低い小さな岩。SD課題が2本ある。



●F岩

C岩から西に少し下ったところにある岩。高さはないが、横に長く、赤ラインのトラヴァース課題が面白い。

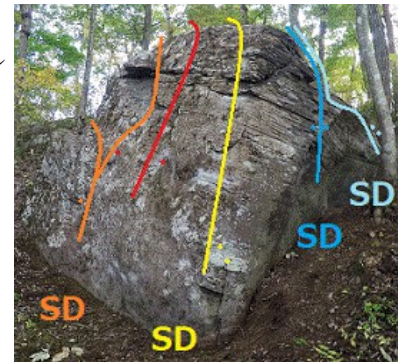


●G岩

尾根の北側にある3.5m程のスラブ状の岩。苔が酷かったが落としたらそこそこ楽しめる課題が何本かできた。

課題に難しいものはないが、赤ラインは上部のガバを取るまでのムーヴがちょっと微妙である。

オレンジラインの右抜けは、左抜けのレッジは不使用。

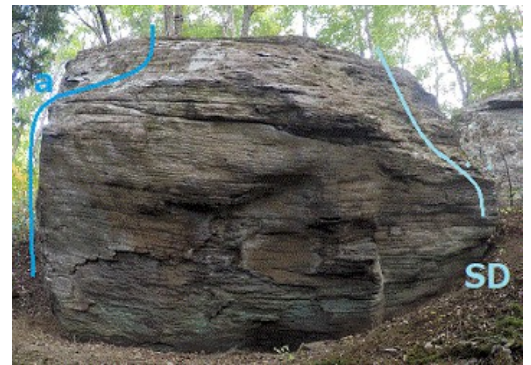
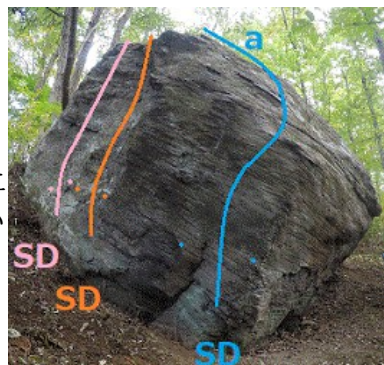


●H岩

左:北面 右:西面

G岩の斜め下にある4m程のハイボール。上部のスラブはやはり苔だらけだったが、落としたら見栄えの良いボルダーとなった。

北面は垂壁だがホールドの向きが悪く、バランスをどう取るかがポイント。



青ラインは、カンテ左からSDスタートし、上部は西面のスラブに回り込むが、変化があり面白い。

西面は出だしが被っており、上部はスラブになるが逆層なので難しい。現在、課題は右のカンテ寄りにある水色ライン(アンダー気味のフレークを取るまでのムーヴが面白い)のみで、中央付近は2~3本程度の難しい課題ができそうであるが、未解決である。課題解決は力あるボルダラーに今後期待したい。

●下部エリアのI岩とJ岩は、現在、簡単な掃除が済んだ程度でトライする状態には至っていない。